

【自分の命は自分で守る】

# 今こそ 耐震補強!!

プロジェクトTOUKAI  
[東海・倒壊] - 0

巨大地震（駿河トラフ・南海トラフ沿い地震や相模トラフ沿い地震）の発生が予測されます。静岡県第4次地震被害想定では市内の最大震度が7とされ、自宅の耐震に不安を抱いた人は多いのではないのでしょうか。今後、予想される巨大地震から一人でも多くの生命を守るため、市は、県や国とともに住宅の耐震化を図るプロジェクト「TOUKAI（東海・倒壊）-0」を進めています。

建築住宅課 ☎ (82)4224、FAX (70)1030



## 木造住宅の耐震補強までの流れ

昭和56（1981）年5月以前に建築された木造住宅を対象に耐震診断を無料でいき、補強計画の作成と補強工事の費用を補助します。また、木造住宅以外の旧基準の建築物の耐震診断の費用も補助します。

※耐震診断や補助金制度は、事前に申し込みが必要です（予算額に到達次第終了）。

### ① 専門家による無料耐震診断

現在住んでいる住宅の耐震性能を知りましょう。

市が派遣する専門家（静岡県耐震診断補強相談士）による耐震診断を行います。

診断を希望する人は建築住宅課まで電話またはファクスで、お申し込みください。

利用実績（平成13年～28年12月末）

市内1,478棟 耐震診断済み

### ② 補強計画の作成（補助対象）

倒壊の可能性があるとして診断された場合、補強相談士による補強計画の作成を行います。

補助金上限額

一般世帯…96,000円

※高齢者等世帯…144,000円

平均作成費用（平成27年度）

約237,000円

補助実績（平成14年～28年12月末）

市内296棟 計画作成済み

### ③ 耐震補強工事（補助対象）

補助金交付決定後、「補強計画」に基づき耐震補強工事を行います。

補助金上限額

一般世帯…500,000円 +150,000円

※高齢者等世帯…700,000円

+150,000円

平均工事費用（平成27年度）

約1,870,000円

補助実績（平成14年～28年12月末）

市内282棟 耐震補強済み

## 平成29年度限定!!

※高齢者等世帯…65歳以上の高齢者のみ、または身体障がい者などが居住する世帯

木造住宅耐震補強工事「耐震補強のPRに協力する住宅」に補助額15万円上乗せ。

## TOUKAI-0の耐震補強工事を実施した場合、税制の特例も!!

【所得税】耐震補強工事などの費用または基準額の10%（限度額250,000円）を控除します。

【固定資産税】翌年度の1年間半額とします。ただし、120㎡相当分までが減額対象です。

## 危険なブロック塀等の撤去・改善（新設）費用を補助します

過去の震災では、倒壊したブロック塀が道路を塞ぎ、避難や救助・消火活動の妨げになる場合があります。危険と思われるブロック塀や石塀は全て撤去し、より安全な生け垣やネットフェンスにしましょう。

市では、道路に面する高さ60cmを超える危険なブロック塀や石塀を撤去あるいは安全な塀に改善する場合、費用の一部を助成しています。

※補助金の交付を受ける際は、撤去する前に市の現場確認が必要です。

撤去の場合	対象区域	市内全域
	補助額	撤去費と塀の長さ1mにつき、8,900円をかけた額を比較して、いずれか少ない方の額の2分の1（最大100,000円）
改善（新設）の場合	対象区域	緊急輸送路、避難路または避難地に面するもの
	補助額	改善費と塀の長さ1mにつき、38,400円をかけた額を比較して、いずれか少ない方の額の2分の1（最大250,000円）